

議長（黒沢義久君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

14番片野宗隆君の発言を許します。

〔14番 片野宗隆君登壇〕

14番（片野宗隆君） 14番片野です。議長のお許しを得ましたので、通告順に基づきまして一般質問を行います。

初めに、南中学校の校舎老朽化と改築についてです。2として、ふれあい広場の野球場内の照明塔整備についての2問を質問いたします。

常陸太田市立南中学校（旧金砂郷町立）は、昭和40年4月、久米中学校と郡戸中学校が統合され、新設の南中学校が創設されました。現在地に新校舎が建設され校庭なども整備されて新しい中学校としてスタートしたわけです。それ以来、42年の歳月が流れ、鉄筋コンクリート校舎として耐久年数40年ほどが過ぎ、したがって、校舎の壁画に至る所に亀裂が入り、雨天のときには雨漏りを生じているのが現状です。一方、校舎の老朽化は耐震性の上からも問題が指摘されており、地元住民や保護者などからも早急に改築が要望されております。

旧金砂郷町では、近い将来において同校の校舎改築の必要性を見通し、常陸太田市合併時までに、「まちづくり、人づくり」の基本理念のもとに、校舎改築の財政基金として7億円の積み立てを目指して計画的・継続的に積み立ててまいりました。このような状況や要望、経緯を踏まえ、市行政当局としては、校舎改築に向けて早急に対応すべきであると存じます。

改築に当たっては、新しい校舎建築様式や動向を把握するとともに、いずれも南中学校と北中学校の統合を見通し、ゆとりと空間のある教室や特別教室の整備、最新の設備をそろえたコンピューター教室、多様な教育活動に利用できる多目的教室とオープンスペースの設置、さまざまな部活動に対応できる校庭敷地の確保など、多様な視点から創意工夫をお願いいたします。

さらに、地球温暖化に伴い、地球に優しい学校建築という視点から、校舎屋上に太陽電池や風力による発電装置の設置も生徒たちの省エネルギー教育を推進する上で有効であると存じます。

以上、南中学校の校舎老朽化と改築について述べてまいりましたが、市行政当局の見解と今後の見通しについてお答えをお願いいたします。

続いて、大里ふれあい広場野球場内の照明塔の整備について。

大里地域にあるふれあい広場は、子どもからお年寄りまで親しまれ利用されている広場であり、市民の憩いの場になっております。この広場の中には、遊具施設からプール、テニスコート、多目的ホール、野球場まで整備されております。

しかし、これらの敷地の中で、野球場の照明塔施設の鉄柱が酸化または腐食によって鉄さびが目立っています。外見的に見栄えが悪くだけでなく、安全管理上も懸念されます。そこで、腐食による耐久状況を調査するとともに、早急に塗装工事を行う必要があると思います。また、これを機会に、その他の遊具施設の安全点検を行い、必要に応じて修理を早急にするよう要望いたします。市民がふれあい広場で楽しく安全に利用することができるような施設の点検整備をお願いいたします。当局のご見解をお伺いいたします。

以上、1回目の質問を終わります。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。教育長。

〔教育長 中原一博君登壇〕

教育長（中原一博君） 南中学校についてのご質問にお答えいたします。

合併前の金砂郷町におきましては、金砂郷町の幼稚園、小学校、中学校の適正教育環境を課題として、金砂郷町幼、小、中教育環境検討協議会が設置され、その中で南中学校と北中学校の適正教育環境について協議がされ、統合の方向での答申を平成15年2月に示しております。

そして、合併後におきましては、常陸太田市学校施設検討協議会において、金砂郷地区の中学校については、金砂郷町幼、小、中教育環境検討協議会の答申を尊重すべきとの答申を平成18年11月にいただきました。市といたしましては、これらの答申を踏まえ、小規模化が進む学校における学校運営や部活動等、教育活動への影響を十分に考慮しながら、よりよい教育環境の保障に向けて、統合の時期やあり方等について内部で検討しているところです。

また、あわせて耐震化の優先度調査の結果を踏まえながら耐震化を進めてまいります。その際、改築の必要性も視野に入れて整備のあり方を検討してまいります。

なお、金砂郷地区学校建設基金につきましては、平成21年8月31日現在で、約2億3,000万円の残高があり、今後、金砂郷地区の学校建設の際に活用していく考えであります。

次に、大里ふれあい広場野球場内の照明塔の整備についてでございますが、大里ふれあい広場野球場内の照明塔は、平成2年度に完成したもので、設置に当たりましては、将来の維持管理を見据えた塗装等の修繕費を考慮し、照明塔の支柱については、耐候性鋼板を用いて設置されたところでございます。

耐候性鋼板とは、鋼材表面に保護性のさびのように見える皮膜を作ることで、内部まで腐食させないような特徴を持っている鋼材でございます。塗装費の高騰などにより、維持管理費が膨大となることなどから注目され、支柱や橋げたなどに活用されております。

なお、市民や利用される方がさびのように見えることで不安や疑問を持たないように、照明塔についての説明を野球場内に表示してまいりたいと考えております。

また、設置後18年が経過しておりますので、耐久性等についても調査し、その結果を踏まえ、必要な対策を行ってまいります。

以上です。

議長（黒沢義久君） 14番片野宗隆君。

〔14番 片野宗隆君登壇〕

14番（片野宗隆君） ただいまは教育長からのご答弁ありがとうございました。もう少し具体的に答弁を欲しかったなという感じを受けております。どうも私の文書に沿った答弁のような感じをちょっと受けましたので。

本当に南中学校の老朽化ということで、教育関係と当局においてはご理解はいただいているわけですが、やはり、目に見えないところが相当破損しているということでございます。この前も運動会の後にちょっと話を承って、プールが相当水漏れがして体育の授業ができなかったということでありまして、たまたま下水道工事をしている方に応急手当をさせていただいて、水漏れを

防いでくれたということをお大変喜んでおりました。そのようにたくさんの方が南中学校に注目しているわけなんですけど、これも当局のご理解が得られなければ、南中学校は完成できないんじゃないかなという危機感を感じるわけでございます。

ですから、今後ともできるだけ地元の要望に応えるような方法をとっていただきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたしたいと思っております。

ふれあい広場の野球場の照明塔についてなんですけど、やはり我々素人が外見を見た限りでは、相当傷んでいるということをお周りの県営住宅の方々、野球場を利用する方にそういうふうなお尋ねをいただいて、早急に塗装をすべきだということをお言われましたので、ぜひひとつ早急にお実現していただきたいなというように思っております。でないと見た目は、専門的に見ますとさほどでもないように見えますけれども、私らの考えといたしましては、照明塔が相当に傷んでいるんじゃないかということはお、合併前から指摘されていたわけなんですけど、それから5年経過して、その中でおすごいさびが立ち込めて、見づらが悪いということになっている状態ですから、ぜひひとつ、その点皆さんと協議をして、できるだけ早い実現をいただきたいなというように思っております。今後ともよろしく当局のご理解をいただきたいと思っております。